

ひとひと ともに輝く女と男

「男女共同参画」について、お二人にお話を伺いました。



「政策決定の場への参画」
十和田市議会議員
小笠原 光さん（法曹事務所）

議員になったきっかけは？

議員をしていた夫が、病気になるたことがきっかけと言えそうです。自分たちの地域に議員がいなくて声が届きにくいということで、いつの間にかわたしは候補者になっていました。このとき、近所のかたが「女性でもいいんだよ」と言ってくれたので決意しました。

議員としての信条は？

- 1 人の話をうきみにしない現場主義です。
- 2 困りごとは親身になって話を聞き放ってかない。
- 3 時代に合った対応をする。



「農業と男女共同参画」
十和田市男女共同参画懇話会副会長、農業委員
甲田 稔さん（大沢田字大下田）

男女共同参画社会について農業者の視点から一言

農業従事者の場合、昔から女性も男性と同じく田畑に行き共に働いてきましたから、職場（仕事）ということであれば昔から男女共同参画であると思います。ただ、近年は男女平等の社会であると言われていますが、社会通念や慣習には、まだまだ「男は仕事・女は家庭」というように男性は働いて家族を養い、女性は結婚して子どもを生んで家において育児家事をやるという意識は残っていると思います。そのため女性は、家事の負担も加わり労働環境は男性よりもきびしいと思えます。

この3つは議員になったときからずっと変わっていません。

議員として今までに印象に残っている出来事は？

- 1 住民と行政の板ばさみになって悩んでいたとき、先輩議員でもある夫から「とにかく、調査が先だ」とアドバイスを受けました。この言葉に勇気付けられて議会に行ったら、問題がうまく解決できたこと。
 - 2 ある役目を引き受けるかどうかを、自分が「女だから」と渋っていたとき、夫が「今は男女共同参画社会なんだから」といって、わたしの背中を押してくれたこと。
- 自分ひとりでやってきたつもりでしたが、夫の存在の大きさを改めて感じました。

女性が政策決定の場に参画するためには？

いきなり政策決定の場に参画することは女性に限らず大変なことです。まず大切なことは、人を「育てる」ということです。女性にもいろいろな役割を経験させること、その経験を積み重ねさせていくことが大事です。わたし自身もPTAや子ども会など長年やったことによって身に付いたことがたくさんあります。

自身の農業経営について

わたしは農業者で、農業委員会を推進している家族経営協定（※1）を締結しています。以前は経営に関して自分の考えだけを押し通してやってきましたが、今では一人よりも妻と二人の知識や知恵でやっていこうと思えるようになりました。経営方針・経営内容も二人が対等の立場で管束して考えるようになり、現在は妻のことを農業経営のパートナーとしても大変信頼しています。

男女共同参画懇話会委員になって自身の中に何か変化は？

委員になる前から男女共同参画的なことをほんやりと考えてはいたのですが、懇話会委員となってからは、そのほんやりとしたものをきちんとした言葉で感じ、認識し、表現できるようにになりました。

いろいろな会議やラジオなどからの情報を、男女共同参画の視点で意識してとらえるようになり、仕事の合間や日常生活の中でもこのことについて考えるようになりました。同時に、妻や親に対する見方も変わりました。広く女性の立場についても関心を払うようになり、自分自身の意識が変わっていきましました。

男女共同参画（※1）について

男女問わず平等に仕事（昇格などの問題も含めて）や活動の場が与えられるべきです。女性にも活躍してほしいと思います。



聞き手 石倉 伶子さん

笑顔が素敵なたで、もっとうるんなお話をききたかった

（※1）男女共同参画

（青森県男女共同参画推進リーフレットより）
男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、また、その機会が確保されることにより、男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受し、共に責任を担うことを言います。

最後に一言

口先だけではななく夫婦間や職場でも互いに認め、理解し合う、そのことにより相手を思いやる心が強くなる。それが男女共同参画の基礎になると考えます。また、そういう考え方を持つ男性や女性が多くなることになって男女共同参画社会が到来するのではないだろうか。



聞き手 秋田 美智子さん

子育てと男女共同参画についてもお話を伺ったのですが、こちらもいいお話でした。でも、誌面の都合で載せられなくて残念です。

（※2）家族経営協定

魅力的な家族経営の実現を目指すために、家族農業経営において、女性や後継者等、農業に従事する世帯員をそれぞれ経営のパートナーとして位置づけ、当事者間により報酬、労働時間などを取り決めることを言います。